

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：旭区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見8	51	(AP1-1) 有効なBCPの策定(3Eの視点) ①各区は、具体的な想定被害を踏まえた上で参集予測を行われたい。	参集予測について、「南海トラフ地震」や「上町断層地震」の具体的な被害想定(本人・家族の負傷や、道路・橋梁の損傷による通行止めなど)を踏まえ、より現実的な参集予測を行っていく。	見解	—
意見9	52	(AP1-1) 有効なBCPの策定(3Eの視点) 各区は、BCPの業務詳細一覧における必要職員数と、参集予測によって参集が見込まれる人数を対照した上で、現実的なBCPを検討されたい。	BCPの業務詳細一覧における必要職員数と、具体的な想定被害を踏まえた参集予測によって参集が見込まれる人数を算出した上で、人数の確保ができていないか、また確保出来ていないのであれば人数を調整するなど現実的なBCPを検討していく。	見解	—
意見11	54	(AP3) 要配慮者たる職員への配慮(多様性・要配慮者への合理的配慮の視点) 各所属は、災害発生時に障がい者をはじめとする要配慮者たる職員それぞれに対して必要となる配慮について検討の上、意識共有及び対応能力向上のため、訓練に組み込むべきである。	要配慮者たる職員それぞれに対して必要となる配慮について検討の上、動員体制を作成しているが、今後も意識共有を行うとともに、必要に応じ訓練に組み込んでいく。	見解	—
意見15	60	(AP4) 三師会との連携強化(3Eの視点) ①各区は、災害時の医療体制について、協定締結団体との間で、医療活動体制の具体化に向けた協議、合意形成を行われたい。	災害時の医療救護体制については、災害時の連携方法や、災害時避難所への派遣人数など実災害を踏まえた意見交換会議を行ってきており、今後も引き続き協議していく。	見解	—
意見17	63	(AP7-1) 個別施策シート の目標値、実績値の記載方法(PDCAの視点) 各区は、個別施策シート の福祉避難所の確保及び充実の目標値について、必要となる福祉避難所の収容人数をベースにした数値目標を定めた上で、進捗評価をされたい。	コロナ禍ということもあり、福祉避難施設との接触が困難であったが、今後、収容人数の算出、福祉施設の職員との連携方法の強化を進めていく。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：旭区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見18	65	(AP7-1) 福祉避難所の充足率の公表（市民への情報伝達の視点） ①策定チーム及び各区は、福祉避難所の充足率を把握されたい。 ②策定チーム及び各区は、福祉避難施設数が大幅に不足していることを市民に告知した上で、要配慮者についても一般の避難所内での避難又は自宅避難の必要性があることを事前に告知されたい。	①危機管理室からの指標に基づいて順次対応するよう努めていく。 ②自宅の安全が確保されている場合は必ずしも避難所へ避難する必要がないことについて、区ホームページや広報紙などで周知していく。	見解	—
意見19	66	(AP7-1) 福祉避難所開設・運営訓練の実施（PDCAの視点） ①各区は、福祉避難所開設・運営訓練を定期的実施するよう取り組みられたい。	令和10年度を目途に、福祉避難所と連携し、訓練を定期的実施できるよう努めていく。	見解	—
意見23	74	(AP9-3) 地区防災計画の利便性（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画について、市民の見やすさ、利用しやすさを踏まえて作成されたい。	地区防災計画は地域が策定するものであり、当区も支援・協働しながら昨年度大改訂を行い、良い事例として挙げていただいているように、より見やすく利用しやすいものとなっているところである。今後も引き続き支援を行っていく。	見解	—
意見24	74	(AP9-3) 地区防災計画の内容（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画の内容について、災害時に必要かつ十分な情報が掲載されているかを精査し、改訂されたい。	地域と連携し、順次地区の実情に沿った形でより支援を行っていく。	見解	—
意見27	78	(AP10-3) 個別避難計画の策定（合規性の視点） ①各区は、個別避難計画の策定についてスケジュールを定めた上で、概ね令和8年度までに確実に個別避難計画が策定されるよう進捗管理をされたい。	令和8年度までの個別避難計画策定に向けて、年度ごとに目標値を定めて実現できるよう努めていく。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：旭区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見29	82	避難施設の整備・拡充に関する周知（市民に対する情報伝達の視点） ②建設局及び各区は、避難施設の整備・拡充の進捗状況について、適切に市民等へ周知を行われたい。	引き続き、防災マップ・ハザードマップの配架やホームページでの周知、防災学習会や訓練の機会に啓発していく。	見解	—
意見30	83	（AP12-1）津波避難施設の確保に向けた目標の設定（PDCAの視点） 該当区は、地域毎の避難計画を踏まえた津波避難施設の確保について、具体的な数値目標を設定し、個別施策シートに記載して進捗管理を行うべきである。	旭区では津波の心配はほぼないとされているが、津波避難施設に指定出来る建物数が少ないため、引き続き、施設の確保を進めていくこととしており、数値目標の設定については様々な意見を踏まえて検討していく。	見解	—
意見34	88	（AP14-2）防災訓練の充実（PDCAの視点） ①各区は、社会福祉協議会と連携した防災訓練において、ボランティアニーズとのマッチングを含めた訓練を実施されたい。	区社会福祉協議会とは様々な機会連携しており、今後も引き続き、ボランティアニーズに留意しながら連携に取り組み、順次訓練の実施に向けて連携強化していく。	見解	—
意見48	116	（AP24-1）水防事務組合の高齢化、充足率を踏まえた水防団員募集への協力にかかる効果的な手法の検討（PDCAの視点） 建設局及び該当区は、各水防事務組合と協力の上、水防団員の増員に向けてより効果的な手法を検討する等して、水防団の充実強化に努められたい。	引き続き、主管の建設局と連携し、広報紙での募集や啓発を行い、水防団との連携強化に努めていく。	見解	—
意見56	133	（AP27-1）他団体との連携強化（政策の統合・調整の視点） 各区は、経済戦略局及び公益財団法人大阪国際交流センターと連携し、外国語通訳の確保に関し、各区间で重複が生じないようにするため、多様な団体との連携をされたい。	経済戦略局及び大阪国際交流センターと連携しながら、ほかの外国語通訳にかかる団体の確保及び連携に努めていく。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：旭区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見59	136	(AP28-1) 進捗管理指標の改善 (PDCAの視点) ①各区は、進捗管理指標と目標値の設定を再検討されたい。	地域の実情を踏まえて、できるかぎり目標値を設定し、実現できるよう努めていく。	見解	—
指摘2	171	適切な個別施策シートの確認と助言 ①各区は適切な個別施策シートの作成を行い、進捗指標及び進捗管理に取り組みたい。	まず、監査結果報告書にて指摘のあった進捗評価について、自己評価の判断根拠の明示及び数値目標の設定を図り、令和4年度の進捗評価においては上記見直し箇所を踏まえ、適切に実施した上で、令和5年6月9日に危機管理室へ報告した。 また、上記令和4年度進捗評価を基に、主に災害弱者への情報発信や対応内容について、施策の細分化及び目標値の明確化を図り、令和5年6月に当初案となる個別施策シートを作成し、令和5年9月中に時点更新を主とした修正を行うなど、令和5年度における個別施策シートを適宜適切に作成した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度及び令和3年度の2期にわたって目標に対する進捗評価がCとなっているものについて、AP7-2、10-3、24-3においては、訓練の実施や支援体制の確立など、計画どおり取組を進めることができたが、AP3-2、6-2、9-2、45-2、45-3、46-2においては、令和4年度においても引き続き取組が停滞していることから、今後は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行を踏まえ、訓練や研修を再開するとともに、関係機関との連携を図るなどの取組や、進捗管理を行っていく。 今後においても災害弱者への情報発信や水害時避難ビルの拡充など、適宜内容整理を図りつつ、適切な進捗指標及び進捗管理に一層取り組んでいく。	措置済	令和5年9月20日
意見77	177	目標値の数値化の徹底 ①全所属は、個別施策の進捗評価について、取組結果や目標値の数値化が可能なものについては可能な限り数値化した目標値を設定されたい。	取組結果や目標値の数値化が可能なものについては可能な限り数値化に努めていく。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：旭区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見78	177	<p>APの個別施策シートの「進捗評価」の利用（PDCAの視点）</p> <p>全所属は、AP個別施策シートの「目標に対する進捗評価」がC（60%未満）である施策に関して、次年度以降の対処方法を明確に定められたい。また、策定チーム及び危機管理室は、当該施策に関する全所属に対し、対処を助言することにより、アクションプランにおけるPDCAのサイクルを有効化するように努めるべきである。</p>	<p>コロナウイルス感染症禍の影響により福祉施設や地域訓練などを中止せざるを得ない状況であったが今年度から感染症対策が緩和されたため毎年訓練などを順次進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度各地域防災訓練を年1回以上実施（実施時期については地域と調整） 協定を締結している医師会や福祉避難施設などとの防災訓練などを年1回以上行う。 	見解	—